

栄えの冠 ～グレイヘア



アンチエイジングが重視される現代では、白髪は老化の象徴のように受け止められ、できれば隠したいと思う人も少なくありません。第一印象は髪型で大きく決まるとも言われるため、おしゃれにあまり興味がない人でも、白髪だけは染めているということがあります。しかし、聖書には次のようなことばがあります。『白髪は栄えの冠。それは正義の道に見出される。』聖書の時代、白髪は年齢を重ねた人の知恵や威厳を象徴するものと考えられていました。最近では、白髪を染めて隠すのではなく、自然な白髪を生かす「グレイヘア」というスタイルも広く知られるようになっていきます。白髪を老いの印として嘆くのではなく、神様が与えてくださった「栄えの冠」として見ることができたなら、それはどんなに素晴らしいことでしょうか。

Oh! Happy Day

暗闇から光へ



はろくち ひろふみ
原口 博次

私が初めて教会を訪れたのは35年前、37歳の時でした。会社勤めにも慣れ、友人にも恵まれ、仕事が終われば気の合う仲間と居酒屋で、時の経つのも忘れてお酒を飲んでいました。魅力ある上司の指導の下、明るい未来が約束されているように思っていました。ところが、いつものように居酒屋で時を過ごして家に帰り寝床に入って眠ろうとすると、急に不安な気持ちに襲われ飛び起きてしまうようになりました。それでも次の日は、何もなかったかのように会社に行き仕事が終われば居酒屋へ行くという生活をしていました。

そのような時期に教会へ誘ってくれる人がありました。その人は、私が持っていない何かを持っているように思いました。初めて行った教会

で牧師が語られた内容は覚えていないのですが、「イエス・キリストを信じる方はおられませんか。」と何度も呼びかけられ、その声がとても優しく感じられて、私もイエス・キリストを救い主と信じる決心をしました。

その日を境に、日曜日には教会に行くのを楽しみにするようになりました。いつの間にかお酒もやめ、不安な気持ちに襲われることもなくなっていました。私の以前の状態は『私たちは光を待ち望んでいたが、見よ、闇。輝きを待ち望んでいたが、歩くのは暗闇の中。』と聖書に書いてある通りでした。暗闇の中にいなければ見えない光もあります。夜空の星と同じです。イエス・キリストを信じた今は、『闇の中に住んでいた民は大きな光を見る。』とのことばを体験しています。